

令和5年度（2023年度）交付

市民活動応援補助金 成果報告書

- 本報告書は各団体から提出された事業報告書や自己評価シートなどの資料をもとに作成しています。

令和5年度 市民活動応援補助金事業成果

団体名	西須恵コミュニティ協議会
事業名	第25回須恵古代まつり
種別	地域活動型
補助金額	420,000円

団体概要（公募申請時点）

団体の目的	地域住民の安全と環境を保護する。 住みやすい街づくり推進を図る。 地域コミュニティの充実を図る。		
活動・業務	須恵古代まつりの運営、須恵古代館の保全管理		
主な活動地域	瀬戸内市	構成員数	31人

事業内容

西須恵地区間の地域交流、文化伝承、市民の健康増進等を目的とし、8行政区のコミュニティ委員、行政委員等で構成しているコミュニティ協議会並びに古代まつり実行委員会を中心に第25回須恵古代まつりを計画、準備、実施した。

事業の成果

- 4年ぶりの開催となった西須恵地区挙げての唯一の全体行事。自治会からは出店等で子供から年配者まで多くの方々に参加して頂き、地域外からも大勢の来場があり、地域間の貴重な交流の場となった。地元文化の美和っこ太鼓を久々の演奏披露ができたことも成果であった。
- 地区および地域間での人々の結びつきを深め、文化伝承を含めた交流により市民の健康増進を促すことになり、地域の活性化に繋がるものとする。

事業を振り返って良かったこと

- 久々に公の場で子供から年配者まで集い、交流の場を設けることができた。
- 4年ぶりに美和っこ太鼓の演奏披露ができた。
- 出店を見送る地区がでたが、地域住民が参加する和太鼓チームの出店参加を得ることができ、本事業に広がりを持たせるきっかけづくりになった。

改善点や今後取り組みたいこと

- 駐車場対策や地域住民の参加者増と地域外への広報
- 地域の活性化に繋がる貴重な交流の場として非常に重要な事業であるとする。地域内の子供や高齢者そして転入者や地域で活動する団体などからの様々な意見を取り入れて、長く続いている伝統行事をさらに発展させていきたい。

令和5年度 市民活動応援補助金事業成果

団体名	刀剣の里魅力向上応援団
事業名	街の賑わい創生事業
種別	地域活動型
補助金額	135,700円

団体概要（公募申請時点）

団体の目的	刀剣の里と謂われる長船地域の歴史的文化資源の保存と継承及びその活用を行い、魅力の向上と文化の振興に寄与すること。		
活動・業務	毎月第一日曜の定例活動日に、耕作放棄地の草刈りや農園への転用を行い、環境整備や美化活動を行う。		
主な活動地域	瀬戸内市 長船町	構成員数	30人

事業内容

地域の賑わいを取り戻し、街の活性化を目的に住民を対象とした刀剣関連史跡周遊探索会や地域交流イベント(ジャガイモ・玉ねぎ収穫体験会、サツマイモ収穫体験と焼芋大会、餅つき大会)などを実施した。また、毎月第一日曜日には刀剣の里農園とその周辺の草刈り等の環境整備活動も行った。

事業の成果

- 刀剣関連史跡周遊探索会については山鳥毛効果で街を周遊する観光客が増えてきており、当応援団員の一部はその人たちに気軽に声かけをする習慣が身に付いてきている。
- 刀剣の里農園の雑草の管理等で景観の改善や、花壇の整備を行ったことで、団員は観光客に気持ち良く刀剣の里を楽しんでもらうために自分たちが役立とうとする気持ちが高まった。
- 餅つき大会では、当日参加いただいた高齢者から子供に至るまで交流の輪が広がり、来年からも続けて開催して欲しいという要望を多数いただいた。

事業を振り返って良かったこと

- 当応援団の活動に地元の「長船字会」が共感してくれ、餅つき大会の共催団体となってくれた。イベントに参加した高齢者が花壇創りを手伝うと申し出てくれた。これらは、地元住民に当応援団活動が理解され、賛同者が増えている証だと肌で感じる。

改善点や今後取り組みたいこと

- 餅つきを高齢者配布用の餅作りと本番の大会の2回に分けて行ったが、年末年始の団員の負担を考え今後は1回で行いたい。
- 刀剣関連史跡周遊探索会の参加者が少なかったため、長船中学校の生徒に案内することを計画する。
- 応援団活動とは別に、農地機能を維持するための「多面的機能支払交付金」の組織を立ち上げ、博物館周りだけでなく大字長船全体の農地荒廃化を防ぐ活動に取り組みたい。

令和5年度 市民活動応援補助金事業成果

団体名	日本のエーゲ海マラソン実行委員会
事業名	第20回 日本のエーゲ海マラソン
種別	地域活動型
補助金額	500,000円

団体概要（公募申請時点）

団体の目的	自然豊かな「日本のエーゲ海、牛窓」の美しい環境を楽しみ、地域の特性を活かしたスポーツ大会を開催することによって、地元と他地域の人々との交流により更なる活力を見出す機会とする。また前島フェリーの利用促進など地域活性化を目的とする。		
活動・業務	マラソン大会の実施とコース環境の整備。		
主な活動地域	瀬戸内市	構成員数	11人

事業内容

令和6年2月4日に瀬戸内市前島で開催した「第20回日本のエーゲ海マラソン」の準備・運営を行う事業。運営に関わる各種事務手続きやPR活動、参加者募集に加えコースの整備にも取り組んだ。また当日は開催運営や地元特産品の紹介も行った。

事業の成果

- 今回は前回の県内限定参加の制限を無くし、ランナーと応援者、運営ボランティアの皆様で900名規模の大会となった。
- ボランティアやランナーに地元中高生さんや留学生さんも多数加わり、国際色豊かな大会となった。
- 「何度走っても坂はキツイけど、景色最高」「手作り感いっぱいの楽しいマラソンですね」「来年また会いましょう」等、嬉しい声を多数頂戴した。
- 澄み渡る景色を望みながら、美しい前島の自然を満喫いただく事ができ、地域の魅力発信の機会となった。

事業を振り返って良かったこと

- 今大会では、コロナ禍からの制限をなくし、募集地域や飲食・入浴を、従来の形態に戻したことにより、サービス向上に繋げることができた。地域の方々との新たな交流が増した。
- 前島フェリー及び、今回より新たに牛窓町漁協送迎船も移動手段に加えたことで、より円滑な会場移動が可能になった。
- 参加者の方々に、近隣の商店や宿泊施設を利用いただくこともでき、地域全体で迎えることができた。

改善点や今後取り組みたいこと

- 今大会は制限をなくし実施したが、コロナ前の規模まで参加人数を回復させることができなかった。今後、集客面や大会運営を工夫していくことで、地域ならではの、特色豊かな大会開催を目指していきたい。また、新たな若い世代の協力を得られるよう、地域とのコミュニケーションを積極的に図っていく必要がある。

令和5年度 市民活動応援補助金事業成果

団体名	てんころ庵
事業名	過疎高齢化が進む地域活性化事業
種別	地域活動型
補助金額	29,000円

団体概要(公募申請時点)

団体の目的	年間を通じた体操教室により、高齢者の健康促進を図る。季節ごとのイベント開催により、地域住民の交流を図る。牛窓を訪れる観光客との交流を図り、地域の活性化につなげる。		
活動・業務	ヨガ体操教室の準備や季節ごとのイベント開催(七夕・クリスマス・餅つき等)の準備・お世話。地域イベントとのコラボや、観光に訪れる方々への食事提供。		
主な活動地域	瀬戸内市 牛窓町	構成員数	5人

事業内容

古民家「てんころ庵」を利用し、高齢者の健康促進を目的に年間を通じた体操教室、季節ごとのイベント開催した。また、牛窓を訪れる観光客との交流を図り地域の活性化につなげた。

事業の成果

- てんころ庵に来て昔話をしたり、体操をしたり、イベントで「あれを作って食べたい」、「活動が楽しいので、あの人この人を誘ってあげたい」となり、牛窓町内市外からも来られる様になった。毎週賑やかで、皆さんの笑い顔が素敵だった。

事業を振り返って良かったこと

- ほとんどの方が1人暮らしで話しをする相手が居ないため、食事を作ることや食べることにに対して消極的になることが多い。しかし、てんころ庵に来ると、楽しく天ぷらやカレーなどを作り、「おいしい」との声が多く聞かれた。
- 皆んなが楽しく笑い、話しをし、食事も作り、毎週が楽しみだ、あの人この人誘ってあげよう、といろんな方が集まるようになって喜んでもらえた。

改善点や今後取り組みたいこと

- 皆さんが、とにかく集まる場所があって話しをし、食べたりするのが好きだと気が付いた。喜んで集まってくれたが、高齢者なのでいつまで続けられるか分からない。

令和5年度 市民活動応援補助金事業成果

団体名	長船夏祭り実行委員会
事業名	長船夏祭り2023
種別	地域活動型
補助金額	483,000円

団体概要(公募申請時点)

団体の目的	地域で祭りを盛り上げる。先輩から受け継いだ伝統ある地域の夏祭りを後世へ引き継いでいく。		
活動・業務	長船夏祭りの準備、実行。		
主な活動地域	瀬戸内市 長船町	構成員数	20人

事業内容

受け継いだ伝統ある地域のお祭り、故郷である瀬戸内市の地域の方に笑顔と元気を与えられるようなお祭りをするため、中高生と共に「長船夏祭り2023」の準備・運営を行った。今年はステージ演舞に加え、やぐらの上から行う「お菓子投げ」や花火の打ち上げも行った。

事業の成果

- 新型コロナウイルスの規制が緩和され、ようやく昔の夏祭りの形を取り戻すことができた。そして記念すべき10回目を迎えることもでき長船をさらに盛り上げることができた。
- 今年はステージ演舞に加え、やぐらの上から行う「お菓子投げ」や花火の打ち上げも行った。お菓子投げは新型コロナウイルスの影響により、やむを得ず行うことができていなかったが規制が緩和された今、もう一度やろうとみんなで決め、密集等に気を付けながら決行することができた。

事業を振り返って良かったこと

- 長船夏祭り実行委員会が、若い子たちで活動していることがだんだんと評価され、他地域でのイベントへの参加依頼もあり、今年は地域の掃除や、サロンでのイベント、朝鮮通信使行列の準備から片付けまで、声がかかったところで活動したが、色んな人に喜ばれて参加してよかったと思った。
- 花火を打ち上げる、ということだけでお金もかかるし、考えなければいけないことや役割も自分たちで担わなければいけないが、来場者の「来てよかった」や「綺麗だね」などの声を聴くことができ、実行委員一同やってよかったなと思うことができた。

改善点や今後取り組みたいこと

- 来年の課題として、人手不足が一番に挙げられる。実行委員会では中高生が主体となって運営しているため、人の入れ替わりがなかなか思うように人手が集まらない。そこで夏のボランティアのように地域の学校と連携したり、地域の大人への呼びかけをしたりして人手を集めていきたい。

令和5年度 市民活動応援補助金事業成果

団体名	大正琴 遊琴子
事業名	大正琴の響き
種別	地域活動型
補助金額	149,300円

団体概要(公募申請時点)

団体の目的	大正琴に係る活動を通じて、仲間づくり、情操の純化を図り、心豊かな生活につなげ地域文化の向上を目指す。		
活動・業務	日本で生まれた大正琴の伝承。演奏会の開催や社会福祉施設等へのチャリティーコンサート等。		
主な活動地域	瀬戸内市	構成員数	18人

事業内容

大正琴の文化伝承、活動を通じた仲間づくり、瀬戸内市の文化向上目的に、10月29日(日)に「大正琴の響き」と銘打った演奏会を開催した。大正琴の演奏家をはじめ、他楽器(沖縄三線、和太鼓)や作曲家、公民館講座「安来節踊り」との共演も行った。

事業の成果

- 他楽器、他講座との共演したことで、交流、輪が広がり仲間づくり、文化向上につながった。
- 大正琴のプロ奏者演奏により、音色、色々な曲、高度な技術、大正琴を知っていただけで伝承につながったと思う。
- 自らの生活の活力、来場者に楽しい時間・元気を与えることができた。アンケートでも「全部素晴らしかった。とても良かった。」という声を多数いただいた。

事業を振り返って良かったこと

- アンケートでは、20歳~90歳の来場者に「大正琴の音色、迫力に心が洗われ異次元の演奏のように思えた」「皆さんよりすばらしい演奏会」来年も楽しみにしている」など感想をいただいた。
- 見送りの際も、来場者の明るい笑顔で「よかったよ、すばらしい!」とのお声かけをいただいた。
- ゲスト、プログラム構成も良かった。

改善点や今後取り組みたいこと

- ホールまでの階段で、つまずいた方がいたので誘導の声かけが必要だと思った。
- 「大正琴の響き」は、大正琴文化の伝承とプロ奏者、いろいろな方と共演することで、仲間づくり、瀬戸内市の文化向上になると思うので続けたい。

令和5年度 市民活動応援補助金事業成果

団体名	牛窓しおまち唐琴通りの保存と活性化プロジェクト
事業名	地域の魅力度充実と情報発信ならびに移住促進事業
種別	地域活動型
補助金額	81,700円

団体概要（公募申請時点）

団体の目的	牛窓しおまち唐琴通り地域に住む人々の誇りの醸成と、本地域一帯の町並み保存と活性化。		
活動・業務	地域の現状調査や活性化のためのイベント企画・実施、移住促進活動及び広報活動等。		
主な活動地域	瀬戸内市 牛窓町	構成員数	66人

事業内容

牛窓しおまち唐琴通り一帯の活性化のため、「牛窓しおまちアート」を開催した。また、郷土料理「水夫のじゃぶじゃぶ」を食する場を設けたり、七夕飾りを街角に設置、餅つき大会の開催や年末には関町ミニ公園へのイルミネーション設置などを行い地域交流の場を提供した。

事業の成果

- 牛窓しおまち唐琴通り一帯の民家の門先に近在のアーティスト・クラフト作家が自作の作品を展示し販売するイベント「しおまちアート」は9回目の実施であったが、多くの作家さんも集まり盛況のうちに設置出来たことは高く評価している。
- 「水夫のじゃぶじゃぶ」を食する会は、好評のうちに実施でき、予定していた50食は完売できた。8月には昔ながらの旧暦（一月遅れ）の七夕飾りを街角に設置した。12月には餅つき大会を実施し、地元はもとより観光客でにぎわった。また年末には関町ミニ公園にイルミネーションを設置して、冬の夜の風物詩とした。
- 移住促進活動はIJUコンシェルジュとしても地道に進めている。

事業を振り返って良かったこと

- 街角コンサートに地元の人々も多数参加し喜んでくれた。
- 七夕飾りやしおまちアートイルミネーション等を実施することで地元の人々の地域の魅力についての認識が深まっていった。

改善点や今後取り組みたいこと

- スタッフの高齢化に伴う負担軽減策を講じ、身の丈にあった事業を継続定期的に展開していきたい。

令和5年度 市民活動応援補助金事業成果

団体名	せとうちこども合唱団 ティンカーベル
事業名	子ども達の笑顔と歌声が市民を明るく 元気にする訪問合唱活動
種別	地域活動型
補助金額	387,000円

団体概要（公募申請時点）

団体の目的	高齢者や入院患者に、癒しや生きる意欲を提供するため子どもたちの歌声を届ける。子どもたちに誰かのために合唱する喜び、仲間との協同活動の大切さ、社会貢献や奉仕の喜びを伝える。		
活動・業務	定期的に合唱、手話などの練習を行いながら、施設やイベント等を訪問し合唱公演を行う。		
主な活動地域	瀬戸内市	構成員数	48人

事業内容

高齢者施設・病院等・幼稚園・保育園の訪問やイベント会場で合唱を届ける活動を実施した。また、昨年度に引き続き自分たちの日常を護ってくれている様々な職業の人に、感謝を伝える「ありがとうプロジェクト」も実施し、約6分のPVに仕上げ、DVDを配布し「Pray for いのちの理由」(山地真美と100人オケとの)コロナコンサート、Xmasコンサートでも披露した。

事業の成果

- コロナ事情も徐々に緩和され、邑久地区のふれあいサロン、特養「せとうち」、今城地区ふれあいサロン、特養せとの夢、玉津地区、美和地区、福田地区のお祭りへの出演依頼も実現できた。
- 昨年実施した、自分たちの日常を護ってくれている様々な職業の人に、感謝を伝える「ありがとうプロジェクト」も実施を決定。様々な職場に訪問しそれぞれ市民の方々が、非常に優しく楽しい対応をしてくださり、団員も保護者も非常に良い経験になった。
- 合宿練習もまた、3年ぶりのアウトドアチャレンジ（キャンプ場での体験イベント）も実施でき、子どもたちのモチベーション維持に非常にプラスになった。
- 各コンサートは、4年ぶりにマスク無しで出演。幼稚園、保育園訪問この3年間、園庭で実施していたが、ホールで実施することが出来るようになった。本来の訪問活動が、戻ってきつつある。

事業を振り返って良かったこと

- 夏休みの暑い日を活用しての5.6年生との活動で、連日大変な活動となったが、様々な立場、職業の人々に出会い、日頃の感謝を伝えたり、自分たちの生活を支えてくれている人の存在を認識できる 非常に貴重な体験となった。このことは、団員に単に合唱団の活動では得られないキャリア教育が提供できたと考えている。

改善点や今後取り組みたいこと

- Xmasコンサートを喜んでくださる観客がたくさん増えて嬉しい反面、徐々に訪問依頼が戻ってきている状況で、コロナ以前の訪問活動と、Xmasコンサートの両立は、厳しいと予想している。
- 来年度は、10周年を迎えるため、特別記念コンサートを企画。10年間の歩みを、集大成する意味と、保横紋活動を改めて認識したい。

令和5年度 市民活動応援補助金事業成果

団体名	せとうちキラリくらぶ
事業名	せとうちキラリ事業
種別	地域活動型
補助金額	181,500円

団体概要(公募申請時点)

団体の目的	幅広い社会教育(青少年、一般社会人、女性、老人等を対象)に取り組むとともに、地域資源を生かした町づくりに寄与する。		
活動・業務	せとうちキラリ講座や密陽市写真展、せとうちキラリ子どもフェスタ、瀬戸内三世代交流祭りなどの交流活動		
主な活動地域	瀬戸内市	構成員数	30人

事業内容

瀬戸内市の観光事業の促進を目的として、市の魅力ある歴史・文化について講演会等を開催する「瀬戸内魅力物語」や、市内の芸術・文化活動を紹介する「せとうちキラリギャラリー」の活動を行った。また地域の活性化を目的に「地産地消」の促進・ランチ研究や菊ちらし寿司の作成・配布、市内外の文化団体との交流も行った。

事業の成果

- 「瀬戸内魅力物語」「せとうちキラリギャラリー」を10講座実施。6講座をYouTubeチャンネルで公開した。
- 「地産地消」の促進・ランチ研究では、調査結果を基に対策(調理・味に特色を出す・飲食店でのキャンペーンの必要性・特色ある器、食器の利用・食材の途切れない供給の確保)について考えた。
- 菊ちらし寿司の作成・販売は11月10、11日市健康づくり課の指導のもと45食を作成・完売した。販売価格500円、味については、好評だった。
- 市内外の文化団体との交流では、新春コンサート「灯の作詞家・黒田すすむの人と作品」を開催し78人の来場者があった。

事業を振り返って良かったこと

- 団体の交流や協力が新しい力を生む為、市内外との団体との交流をより深められたことが良かった。

改善点や今後取り組みたいこと

- メンバーの増員が必要。
- 事業計画にあった「移住するなら・子育てするなら瀬戸内市」教育関係報告については、国、県、市において、新しい政策が展開中であるため中止し、新年度の取り組みが出そろって(新年度になって)、調査、計画を立てることとした。来年度「瀬戸内市の子育て」キャンペーンを行いたい。「子どもを地域で育てる」も柱であるため準備を進める。

令和5年度 市民活動応援補助金事業成果

団体名	牛窓朝市実行委員会
事業名	牛窓朝市
種別	地域活動型
補助金額	150,000円

団体概要(公募申請時点)

団体の目的	牛窓朝市を定期的(毎月1回)に開催することで、牛窓の活性化に寄与する。		
活動・業務	牛窓朝市の運営、参加団体の調整管理、名産品の発掘など。		
主な活動地域	瀬戸内市 牛窓町牛窓	構成員数	10人

事業内容

牛窓朝市の定期開催(毎月1回)を通じて、市民に牛窓の一次二次産品を手軽に食することができる機会を提供し、市外にその魅力を発信する。同時に、朝市参加団体及び六次産品の育成を目指す事業。

事業の成果

- 出島公園にて4回(5月・6月は雨天のため中止)開催し、延べ人数として約1600人の来場者があった。
- 朝市開催により地域経済に収益向上。
- 地域住民や観光客の交流の促進が進み地域コミュニティの活性化となった。
- 朝市が地域産品や文化の発信拠点となり地域ブランド力の向上につながった。
- 特別なイベントや催しにより牛窓の魅力向上に繋がった。
- 広報活動によりSNSなどでの牛窓の知名度向上に繋がった。

事業を振り返って良かったこと

- 牛窓の食材をより知ってもらえるように出店者への牛窓食材の利用を促すことができた。
- 来場者数を増加させることができ、多くの方に牛窓の魅力を伝えることができた。
- 朝市会場だけでなく地域内への来場者の回遊も増えてきているので地域の活性化に寄与することができた。

改善点や今後取り組みたいこと

- 特定の商品やサービスに対する来場者の需要が高かったり低かったりする為、変化に合わせて出店者のバランスを調整する必要があった。天候が不安定だった場合、来場者や出店者の動向に影響を与えることがあり、天候によるリスク管理策を検討する必要があった。来年度からは一時休業し、事業の再評価と改善に時間を割くことで、地域の皆様にとって有益なイベントを提供できるよう、引き続き努力していく。

令和5年度 市民活動応援補助金事業成果

団体名	備前福岡大市実行委員会
事業名	備前福岡大市・いどばた朝市
種別	地域活動型
補助金額	168,300円

団体概要(公募申請時点)

団体の目的	買い物弱者への応援と瀬戸内市の観光、長船町福岡の観光、長船エリア全体としての交流人口の増加、瀬戸内市全体の魅力向上に寄与する。		
活動・業務	年2回の大市開催と観光客対応。 月1回のいどばた朝市の開催。		
主な活動地域	瀬戸内市 長船町福岡	構成員数	30人

事業内容

年2回(4月、11月)の備前福岡の大市、毎月のいどばた朝市を継続的に開催し、地元の人との交流の場を設けるとともに、世代を超えて地域文化や慣習を継承していく事業。また、観光客に備前福岡の観光PRも継続的に行った。

事業の成果

- 備前福岡の大市では、春は、市会場、郷土館等で延2500人程度の参加者があった。また往来する活気も戻り町歩きをする人が増えた。秋の大市は、出店数も最大数24(継続)の大市の形を継続した。訪問者と地域が交流する場を取り戻しつつあるのはとても良い機会と考えている。
- いどばた朝市では買い物弱者の手助けを合計10人~20人/回(月)全体計延べ250人(年間)行った。地域の食(野菜販売など)を通じた地域コミュニティの醸成として寄与することができた。

事業を振り返って良かったこと

- 分散型のイベントによる地域の回遊性をつくるノウハウや、小スペースでの開催するノウハウなどコロナ禍を乗り越えて様々なノウハウも蓄積された。そのため安全安心を担保しつつ、今まで以上にパワフルな大市開催に向けて継続して取り組んでいけると考える。
- 毎月のいどばた朝市は、地域の食を通じたコミュニティとして、お年寄りのサロン活動的な要素もあり、日常の様子が共有でき、地域の見守りなどにもなっており、緩やかに継続している。

改善点や今後取り組みたいこと

- 地域の安全安心を継続して第一優先としながら、コロナ対策の経験を活かし、新たな企画を盛り込み、より充実した取り組みにしていく。また運営体制の強化を引き続き図っていく。

令和5年度 市民活動応援補助金事業成果

団体名	せとうちふれあいまつり実行委員会
事業名	第12回せとうちふれあいまつり
種別	地域活動型
補助金額	295,200円

団体概要(公募申請時点)

団体の目的	・障がい者同士の交流と就労意欲の促進 ・一般の地域の方の障がい者理解の促進 ・事業所間の交流と事業所のPR		
活動・業務	せとうちふれあいまつり開催に関する業務全般		
主な活動地域	瀬戸内市	構成員数	10人

事業内容

10月21日にせとうち旭川荘にて開催した「第12回せとうちふれあいまつり」を行う事業。障害のある当事者が実行委員会となり、障がい者当事者同士の交流や就労意欲の促進、一般の地域の方への障がい者理解の促進、事業所間の交流等に取り組んだ。

事業の成果

- 新型コロナウイルスの影響で中止していたが、4年ぶりに開催することができた。当日天候にも恵まれ、500人を超える参加者があり、盛会に開催することができた。市内外の他事業所の利用者とも交流を深めることもできた。
- 参加者からの「楽しかった」や、利用者からの「頑張っただね」といった励ましの言葉をいただき、職員ともども深く感銘を受けた。
- このまつりの目的でもある、「障がいに対する理解と偏見、障害の有無にかかわらず子供も大人も、ともに助け合いの心」をこのまつりを通じて、少しでも育むことができたと確信している。

事業を振り返って良かったこと

- 他の事業所等の協力をいただき、500人を超える地域住民の方をお迎えしてのふれあいまつりが開催でき、地域住民と福祉事業所の良い交流の場になったと思う。

改善点や今後取り組みたいこと

- 4年ぶりの開催だったため、準備には時間も労力も随分かかった。次年度は、より段取りよく準備できるかと思われる。
- さらに多くの瀬戸内市内の福祉事務所や一般企業も巻き込みながら実施していきたい。共生社会の足がかりとなるようなイベントにしていきたい。来年度以降においても、更なる内容の検討等を行い、より多くの皆様に参加いただき、楽しんでいただいているまつりにしたい。